

アカゲラ通信



旭山記念公園情報2021年7月

●噴水運転停止中

噴水は、コロナ禍の状況を鑑み、ライトアップも含め当面運転を停止しています。ご了承ください。

●第2駐車場一部立入制限

擁壁崩落場所の土留めのため、南側の列の駐車スペースが当面利用できなくなっています。

四つ葉のクローバーとカタバミ



四つ葉のクローバーはシロツメクサの葉の小片が4枚のものです(通常3枚)。
◎シロツメクサ…園内の日当たりがいい草地どこにでも見られます。四つ葉は森の家の近くで毎年見つかっていて、今年も2つ見つけました。

◎近縁種ムラサキツメクサ…別名「アカツメクサ」。
赤紫色の花が咲き、少し大きく、葉が細長い。四つ葉はめったにないそうです。

◎「白詰草」「紫詰草」…どちらも江戸時代までに日本にもたらされた外来種ですが、ガラス製品を入れて運ぶ箱のクッション材として乾燥させたクローバーを箱に「詰めた」ことが「詰草(つめくさ)」の名前の由来です。



◎葉はハート形ではない？！…四つ葉のクローバーの絵として葉がハート形になっているものが見られます(ももいろクローバーZのロゴなど)。イメージ的なものでしょうけど、実は、シロツメクサの葉はハート形ではなく、卵形でくぼみはありません(左上写真参照)。

◎ハート形の葉の正体はカタバミ…葉がハート形のクローバーのような植物、それがカタバミです(右写真)。在来種で日当たりのいい草地に出て、旭山でも両者が同所的に出ていますが、だから余計に間違いやすい。カタバミとエゾタチカタバミの2種類が旭山にはありどちらも葉はハート形です。初夏に黄色い花が咲きます。



◎ほんとのハート形四つ葉を探せ！…カタバミにも稀に四つ葉が出るそうで、いつか見つけたい。そしてもちろん「本家」四つ葉のクローバーも探してみよう！

旭山通信 ~レストハウスより 2021年7月

いつも旭山記念公園レストハウスぽるくをご愛顧いただきありがとうございます。

ぽるくでは、4月24日より、手作りお弁当、ザンギやフライドポテト等スナック類、ソフトクリーム、コーヒーやいちごミルクなどの飲み物をご提供しています。今回はその中から、自信をもってご提供している「西興部村のソフトクリー夢」を紹介します。

ぽるくの「ソフトクリー夢」は、西興部村「萩原牧場」さんのグラスフェッドミルクを使用しています。西興部村は北海道北東部、北海道オホーツク総合振興局管内の西北端に位置しています。東と北は興部町、南は滝上町、西は上川郡下川町があり、札幌から282km、車で5時間30分のところにあります。



グラスフェッドミルクとは、雑穀や人工肥料などを一切与えず、広大な土地で自然の青草のみを食べて育った牛のミルクです。研究によると不飽和脂肪酸や抗酸化成分、ビタミンなどの量が従来のミルクより、グラスフェッドミルクの方が多いという報告もあり、健康を気にされている方も安心して食べることができます。



萩原牧場さんでは、ホルスタイン種、ジャージー種、ブラウンスイス種の牛をのびのび育てています。中でもブラウンスイス種は日本に1000頭あまりしかいない希少種で、この牛のミルクは乳脂肪の大きさが小さく、おなかを壊さない牛乳として注目されています。ストレスなくのびのび育った牛のミルクをたっぷり使った「ソフトクリー夢」、食べてみませんか？ 美味しいですよ！ あっ、無添加で溶けやすいので、食べる際はお気をつけくださいね。

旭山野鳥メモ㉘ コサメビタキ

コサメビタキ Asian Brown Flycatcher *Muscicapa dauurica* スズメ目ヒタキ科

夏鳥。旭山では5月上旬から10月上旬まで見られる。5月の渡来直後は近くで姿を見る機会が多いが、6月に入るとあまり見なくなり、7月に幼鳥が巣立つと再び見る機会が増える。幼鳥は最初ごま塩頭で、胸は縞模様、成鳥より茶色みが強い。(右写真、左が幼鳥、右が成鳥)。

背面は灰褐色で胸から腹は白っぽい。近縁種サメビタキには胸にタテの斑があり識別ポイントだが、サメビタキでもタテ斑が薄かったり、コサメビタキでもうつすらとある個体もいるからややこしい。

コサメビタキの囁りは奥ゆかしいというか自信なげというか、キビタキのような強い主張もなく小声でぼそぼそと歌う。その上あまり囁らないので、何の鳥か分からぬことがある。

かつては色も地味で存在も目立たず人気のない鳥だったが、野鳥撮影者が増え、この鳥のくりっとした瞳のかわいさに気づいて魅了される人が増え、人気もぐんと上がってきた感がある。

まるで小雨に打たれたかのような情緒ある名前だが、実は「小鮫鶲」で「小さいサメビタキ」の意味(サメビタキの由来は模様が鮫肌のように見えること)。しかし、このかわいらしい鳥に「小」の響きはよく似合う。



7月の野鳥トピックス

野鳥についての詳しい情報はホームページの野鳥情報をご覧いただけます。森の家までおたずねください。

◎とりのようちえん=7月はカラ類、メジロ、センダイムシクイなど様々な鳥の幼鳥とその親鳥が集まる「とりのようちえん」が見られます。多い時には50羽以上が同じ場所にいることもあります。

★シマエナガ=昨年も7月中旬から姿が見られなくなりましたが、今年もそのような動きになっています。標高が少し高い場所に「避暑」に行っているようですが、昨年は9月まで見られませんでした。今年はどうでしょう?

★オオルリ、キビタキ、クロツグミ=幼鳥がそろそろ見られる頃です。

★クマゲラ=園内ではしばしば見られています。



アカゲラ幼鳥

旭山記念公園見どころマップ2021年7月



ジョウザンミドリシジミ



ハエドクソウ



チコリの花
(キクニガナ)



公式サイト

「アカゲラ通信」 第92号 2021(令和3)年7月9日発行

(公財)札幌市公園緑化協会 旭山記念公園管理事務所

<https://www.sapporo-park.or.jp/asahiyama/> 〒064-0943 北海道札幌市中央区界川4丁目

電話 011-200-0311 (金・土・日・祝日 10時~16時) FAX 011-200-0351